

組合発 2021-02 号

2021 年 3 月 5 日

## 福岡と京都で導入された新料金体系に関する緊急声明

ウーバーイーツユニオン

3 月 1 日より御社ウーバー・ジャパン、およびウーバーイーツ・ジャパンは、配送料の新料金体系を福岡と京都で導入した。

その結果、大幅な報酬引き下げが発生しており、3 月 4 日現在に至るまでの間、「バグなのか、本当の報酬引き下げなのか」と情報が錯綜する中で、現場の配達員は深刻な混乱と不安の中で稼働するか、あるいは稼働を取りやめるという選択を強いられている。

私達ウーバーイーツユニオンは、この事態を招いた全責任は御社ウーバー・ジャパンらにあると考え、ここに緊急声明を発し、以下要求する。

(1)ウーバー・ジャパンらは、福岡と京都への新料金体系導入が引き起こした現在進行中の混乱について、ただちに配達員への公式アナウンスをせよ

3 月 1 日の新料金導入と同時にツイッター上には、福岡と京都の配達員からの悲痛な報告が溢れかえった。

多くの配達員がサポートに問い合わせたものの、サポートからは「まだ調査中」「300 円以下はバグで、そのうち修正される」「正規料金です」など、まったくチグハグな回答が返っており、情報の錯綜に拍車を掛ける結果となっている。

今回の混乱を引き起こした全責任は、御社ウーバー・ジャパンらにあることは明白である。事情のわからないサポートスタッフをサンドバッグにするのは止めて御社らの名で、ただちに全配達員に対し、公式アナウンスをするべきである。

(2)新料金体系の「ベース」算出の元となる基準値と計算式を公表せよ

今回の混乱の中で福岡と京都からは、1 件の配達料金が 100 円台という目を疑うような案件や、配達距離が 0.3 キロであっても 4 キロであっても一律 300 円などという事例が、数多く報告されている。

従来は、アプリ内の「売り上げ状況を確認する」から、受け取り料金、受け渡し料金、距離料金を確認することができた。

しかし 3 月 1 日以降、新料金体系が導入された地域において、アプリで確認できる料金の内訳には、「ベース」と「配達調整金額」しか明記されていない。

「ベース」が、いかなる基準値と計算式から算出されるのかは、完全なブラックボックス状態となっている。これは、「新料金が適正かどうか」を判断する前提条件すらないことを意味する。

受け取り料金、受け渡し料金、距離料金と配達時間料金それぞれの基準となる値と、「ベース」の計算式を、ただちに公式発表することを要求する。

(3) 御社らの不当行為によって発生した異常な減額分を、ただちに補填せよ

新料金体系が導入された福岡と京都では、一件の配達に 100 円代という目を疑うような案件の発生も報告されている。

数多く報告されているのが配達距離に関係なく一律 300 円という事例であるが、1 時間に 2 件の配達を受注したとしても、時給換算すると 600 円であり、最低賃金を大幅に下回る。

今回、御社らの不当行為によって発生した異常な減額分については、ただちに補填することを、強く要求する。

(4) 一部地域を恣意的に選定し、配達員の生活を無視した新料金体系の実験行為は中止するべきである

今回の新料金体系が適用された福岡と京都では、あまりに不当な配達料金を見て多くの配達員が稼働を取りやめている。そのためマッチングが機能せず、「配達員がなかなか来ない」という事例も頻発し、レストランにも利用者にも被害が及んでいる。

配達員の生活を破壊し、レストランや利用者をも巻き込んで地域まるごとを実験台にするような行為は、ただちに中止するべきである。